



## 『フォーシーズンズ』

今年は数えて四才になりまして、何と前厄にあたります。

そこで、一月一日に近くの神社において該当者のご折禱がありました。

私の住んでいる地区では該当者が四〇名ほどぐらいいます。

地元を離れていた人も、正月で帰省してきており、ほぼ全員が集まったんですが、会う人会う人が皆んないいオッサンに見えます。なかにはどうみても同級生とは思えないほど立派なオッサン（私のことではありません）になっている人がおりました、中年なんだなと変な納得をしたりしました。

確かに四〇才といえは中年になり、年令的には若くないかもしれませんが、長い人生においてはまだ半分です。未熟者です。

これからの人生においても、苦悩や失敗もあるでしょうし、喜びや成功もあるでしょうが自分に厳しく、心の若さだけはいつまでも持ち続けたいと思っています。

人生には、嘆きの人生と楽しみの人生の二つしかありません。

どうせ歩く人生なら、楽しみの人生を選び、夢と希望をもって生きようではありませんか。

稲葉 友昭

## 特別寄稿

拜啓「波紋」編集部殿

「波紋」刊行三十号突破、お目出度う。

本当によく頑張りましたね。勿論、根本に森社長の強い意志があつてのことですが、それにしても実際に編集を担当する人が投げやりであつたりしたならば、到底続け得なかつたでしょうから、お見事と申し上げておきます。

実はボク達夫妻は、大の「波紋」ファンでして、隅々まで丁寧に、楽しく読ませて貰つております。以下はボクからの「友情あるメッセージ」とお受取り頂ければ幸いです。

(一) 「波紋」の優れているところ

(A) 誤字が少いこと  
誤字は頬っぺについた御飯粒。食卓で見つければ笑いの種、そのまま街へ出れば嘲笑の種。原稿に誤字はつきものです。それを校正するのが編集部員の最も重要な仕事なのです。誤字が完璧に無い社内報は、それだけで水準以上と言えるのではないのでしょうか。ボクはこの原稿もよく校正して下さい。因みに「波紋」十二月号の誤字は一つだけでした。

(B) 企画構成がよく出来ていること

「トシ君の一方通行」「クイズ」「マコのものしりコーナー」等、何れも好調と見受けられます。何とか読んで貰おうとの、努力の跡が見られます。

紙面構成については「水準以上」の評価が受けられるのではないのでしょうか。

(二) 「波紋」充実のための提言

(A) 「編集後記」個性化の勧め

当然のことですが編集後記を書けるのは編集部員だけです。部員が部員であることを誇りとし、それを楽しみ、言いたい事を自由に発言出来るのが編集後記である筈です。ですから、先づこの欄から読み始める読者も多いのです。

記事の補足説明すら、ありきたりの時候文やら、真面目な高校生風の短文のようなものではつまらないと思いませんか。少いスペースであればこそ、一層思い切り自分の言葉で自己主張してみませんか。読むのが楽しい「編集後記」を書いてみませんか。

(B) 「てにをは」(助詞)。「、」、「(句読点)」にも神経を使って下さい

意味さえ通じるならばそれで充分、と云う発想は内々だけのこと。今や社外に数百名の読者を持つ「波紋」ではありませんか。日本のビニール屋を指す森松樹の社内報に相応しく「一流」を目標とすべきではないでしょうか。標記のことについて、失礼ながらいささか無頓着に過ぎませんか。部内でご研究頂ければ幸いです。

少々波紋は出しましたけれども、総じて言えば立派なものです。堂々たる社内報です。目前の「一流」を目指して、部員御一同様の更なるご健筆を、心から祈念致します。

敬具

シマヤビニール加工 島 明男

## 決定!! 慰安旅行 「スキーと温泉の旅」

三月十一、十二、十三日 二泊三日（一泊車中）で、野沢温泉へ行きます。

十一日は、夜十時出発で、車中泊りで十二日の朝七時ごろ野沢温泉着の予定です。

朝食後は、スキーを楽しんで頂いてそのあとゆっくり温泉にでも入って疲れを癒して下さい。スキーのできない人は、宿の廻りに外湯がたくさんありますから温泉に入ったたり土産物を見たりゆったりと日ごろの疲れを癒してください。

十三日は、少し早めに野沢温泉を出発して、名古屋に帰ってくる予定です。

バスに乗っている時間が長いので、退屈しないようにレンタルビデオなども用意いたします。旅行の間は、仕事のことも忘れて楽しんでください。

とにかく怪我のない、楽しい旅行にしたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

3/11(金)	会社前発	春日井	—	<RT19>	—
	22:00	23:00			
	中津川(休)				
	0:40 / 1:00				
3/12(土)	松本(休)	—	長野(休)	—	野沢温泉着
	3:00 / 3:20		5:10 / 5:30		7:00頃
	朝食後フリー		(泊)		
3/13(日)	午前中スキー		野沢温泉発	—	
			10:30		
	山信ドライブイン(休)	—	松本(休)	—	
	11:30 / 12:15		14:15 / 14:40		
	松本IC	<中央道>	—	恵那SA(休)	—
	14:50			16:50 / 17:05	
	名古屋IC	会社前着			
	18:00	18:45頃			

## 『エッセイ』 女子従業員



今春、卒業の女子新入社員が四人入社します。高卒が二人、専門校卒が二人です。

でも、実質は三人です。なぜなら、岡田さんが、十一月から休業中だからです。

今の事務状況は、朝八時から夕方（六時半から七時頃）までやっても、まだその日にやらなければならない仕事が終わられない状態です。とにかく、今目の前にある仕事の優先順位を考えて、あとまわしにしても良いと思っただけは、後へ後へと残して置いて、ついづいためてしまっておりま。そしてその残しておいたその仕事を整理しようとする、これ又、大変で尚一層能力が悪くなり、悪循環を繰り返している状態です。そこへ四人もの女子事務員が入社してくれるということは、私達にとって、福の神が現われたような幸わせない気持ちにしてくれました。

二人の高校卒の人は、木村部長の同級生が、高校の先生をしていますので、その人からの紹介で入社してくれるんです。そしてあとの二人のうち一人は、今、アルバイトで週、十五時間位手伝ってくれている今村さんです。そしてその今村さんの同じ専門学校の友達の宝田さんをも紹介してもらいまして、入社してもらったこととなった次第です。

この四人の人の未知の計りしれない「力」をいかに生かしてもらおうかは、私達教える者の大きな責任です。先輩に当る橋本さんをはじめ伊藤さん富田さん、ちはるさん永井さん大いに協力を、お願いします。

それから今月の二月十一日、入社三年目を過ぎようとする。永井さんが結婚します。

でも、結婚しても引き続き勤めてくれますのでとっもうれしく思っています。

今までの三年間でいろいろ学んで覚えている。本人の力が養われるのは当然のこと、会社にとっても大きな利益になります。

森松も、女子社員が結婚して、そのまま継続して勤めても、結婚生活が上手くやっていける体制作りを、考えていかなければなりません。女性が女性なりの能力を生かし、今までやってきた仕事をそのまま生かして、伸ばしていける環境作りをもやっていきたいと思っています。

男と女の役割分担はあるにしても、能力的には変わらないと思いますので……。今後女性の能力をいかに生かしていくかを皆で考えていきたいと思えます。

# 今月の社内行事

二月 六日 第一土曜日休日

六日・七日

位山スキー場

十一日 建国記念日

十六日 中堅幹部会議

午前七時半より

二二日 母袋スキー場

二七日 モーニングスクール

午前七時半より

「スナック」品庫の整理  
夫宝!! 博安!!

## 『暮らしのエッセイ』

### 温泉旅行

今年、元旦から私の親戚と共に下呂へ一泊二日の温泉旅行に出掛けました。私にとつて久方ぶりの楽しい旅でした。宿に着き少し離れた露天風呂に入り河原から吹き寄せる風と湯けむり漂う中でこちよいい風情を味わったのです。夕食も身内ばかりという気安さから和きあいあいと話はずみジョークを云いながら食事も美味しく食べられました。夜は、早目に床に就いたのです。翌日、目が覚めイビキや寝ごとで寝むれなかったと笑いこぼれたのです。その後朝湯に入りあったまった身体で朝食を取り宿を後にしたのです。帰りの車中で妹夫婦から又来年も出掛け様ねと云われ、こんな旅が出来たらと思いつつ家路に着いたのです。今までもこんな機会はあったのですが姑と共に暮らしていたためあまり身勝手な行動は許されず我慢して来ました。でも人生折り返し点に入った今やっと思いの目をみる事が出来大へんうれしく思っています。

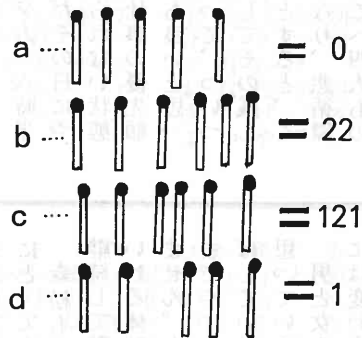
水谷 桂子



## 『クイズコーナー』 〔パズル〕

$\alpha$  列と  $b$  列は一本ずつ、 $c$  列は 2 本、 $b$  列は 3 本……とマッチ棒を動かして、  
答えが、 $a = 0$ 、 $b = 22$ 、 $c = 121$ 、 $d = 1$ ……となるようにするには、どうすればよいでしょうか？

締切 2 月 15 日 到着分まで、正解者多数の場合は、抽選にて 3 名様に豪華な景品を差し上げます。御待ちしております!!



## ● 編集後記

一年の内で最も寒いと言われるこの頃、皆様お元気でお過ごしですか。さて全くの素人の私達が手さぐりで始めたこの社内報「波紋」もいつのまにか第三十二号。

初代牧野編集長に作ってもらった軌道の上を只々一生懸命歩いてここまでできた感じです。

この度シマヤビニール加工様の島社長より激励と適切な助言を編集部にお寄せいただき、同感を感じております。ヨチヨチ歩き「波紋」を見守り続けて下さっている方の為にも全員を正してさらさら頑張りましょう。

一部の人の「波紋」にならない為にも、頭を痛めてます。

御意見をお寄せ下さい。切に待っております。

橋本 正子

編集発行者  
森松株式会社

発行責任者  
橋本 正子  
昭和63年 2 月 1 日  
第 32 号